

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E142E010		古典文学演習 (Japanese Classical Literature (Seminar))															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用	後期		氏名 安道 百合子 E-mail y-andou@oita-u.ac.jp 内線 7535											
授業の概要	『百人一首』和歌の一首に関して、作者・和歌の読解鑑賞の演習を行う。一人一首を担当し、レジュメに基づいて発表する。出典、作者、文法的説明、語釈、解釈・現代語訳・鑑賞が必須事項で、そのほか、注釈に関連して、参考論文の紹介や自分なりの課題の提示をする。発表後、全員で討議し、課題の解決を図る。古典和歌の研究方法を学び、習得する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 和歌解釈の手続きを習得する。																	
目標2 担当和歌について注釈・現代語訳・鑑賞のレジュメを作成して発表する。																	
目標3 発表者の研究に対して皆で討議し、課題を解決する。																	
目標4 自分なりに課題設定をして、研究レポートを書く。																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 演習課題と進め方について解説。『百人一首』について概説。																	
2 演習(1) 季節歌・春																	
3 演習(2) 季節歌・夏																	
4 演習(3) 季節歌・秋																	
5 演習(4) 季節歌・冬																	
6 演習(5) 恋歌																	
7 演習(6) 歌の背景「歌合」題詠和歌を考える																	
8 演習(7) 男うた																	
9 演習(8) 女うた																	
10 演習(9) 時代の評価																	
11 演習(10) 万葉歌と新古今和歌																	
12 演習(11) 歌枕																	
13 演習(12) 序詞																	
14 演習(13) 詞書																	
15 演習(14) 歌論																	
ラ ア ー ク ニ テ ン イ ン グ レ ブ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	本文提示、注釈、現代語訳、鑑賞、問題の所在、などを明記したレジュメを作成して、発表する。発表後には、それぞれ意見を述べ合い、解決を図る。期末には、自分なりの課題設定をしたレポートを仕上げる。					工 夫 そ の 他 の										
時間外学修の内容と時間の目安	準備 個人演習の準備をする。作品読解、注釈作業、現代語訳作成、参考文献調査などを含むレジュメを作成する。発表担当でない場合も、通読、自分なりに解釈、学修 鑑賞を考えて準備する(40h)。 事後 授業内で扱った題材に関連する書籍を読んで興味関心を広げる。自分なりに課題を見つけて、研究を進める(20h)。																
教科書	テキストを定めず、授業時に諸本を参照する方式をとる。																
参考書	適宜紹介する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	演習レジュメと発表	40%															
	授業時、議論への参加	10%															
	期末レポート	50%															
注意事項	討論には積極的に参加して、自分の意見を述べること。																
備考	古語辞典必携。																
リンク																	
	URL																